

執行役の選任理由

2025 年 4 月 1 日付就任の当社執行役の選任理由は以下のとおりです。

なお、当社執行役の選解任に関する方針については「コーポレート・ガバナンス基本方針」をご参照ください。

役職	氏名	理由
取締役 執行役社長	田中 徹也	これまで主に加工事業関係の製造・開発の部署に在籍し、2019 年 4 月の執行役員就任を経て、2020 年 4 月に執行役常務に就任。 筑波製作所長、加工事業カンパニー開発本部長を歴任し、2020 年 4 月以降は加工事業カンパニー プレジデントとして、不採算事業からの撤退など事業構造改革を推進したほか、技術開発の高水準化及び営業部門との協調体制の強化等を主導しました。2024 年 4 月以降は、CSu0、業務プロセス統括、安全環境品質、環境保全センター、地球環境、法務・コンプライアンス担当として、SCQ 課題や地球環境問題への対応の強化、業務プロセス改革等に取り組んでいます。 このように、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、当社グループの経営を担う執行役として相応しいと判断しています。 また、豊富な現場経験を有しているほか、当社を先導していくのに相応しい人格・リーダーシップを有しており、当社全般の業務を統括する執行役社長 CEO として相応しいと判断しています。 ※ CSu0 … Chief Sustainability Officer ※ SCQ … Safety & Health、Compliance & Environment、Quality ※ CEO … Chief Executive Officer
取締役 執行役常務	平野 華世	2024 年に当社に入社する以前には、主に監査法人及び住宅設備メーカーにおいて、監査業務及び経理・財務、IR・SR に関する企画・立案・運用に取り組んだほか、IR、経理・財務関係の組織の長としてのキャリアを重ねてきました。また、税理士及び米国公認会計士（デラウェア州）の資格を有しています。 2024 年 4 月に経理財務部長として当社に入社後は、過去の知見を活用しながら陣頭指揮を執り、配当政策や対外開示方針の取りまとめ、決算時における財務分析の高度化等に取り組んでいます。 このように、当社の経営に必要な豊富な知識・経験を有しており、且つ当社事業・業務に関しても十分に把握・理解していることから、当社グループの経営を担う執行役として相応しいと判断しています。

役職	氏名	理由
執行役常務	野川 真木子	2021 年当社入社以前には、主に外資系企業において、人事制度・人事施策の企画・立案・運用に取り組んだほか、人事関係の組織の長としてのキャリアを重ね、2021 年 4 月の執行役員就任を経て、2022 年 4 月に執行役常務に就任。 2021 年 4 月以降は人事部長として、2024 年 4 月以降は CHRO、人材・組織開発、人事労政、HRBP、総務、秘書担当として、人的資本強化施策や HRX 施策の深化への取り組み、労働力不足への対応等に取り組んでいます。 このように、当社の経営に必要となる豊富な知識・経験を有しており、且つ当社事業・業務に関しても十分に把握・理解していることから、当社グループの経営を担う執行役として相応しいと判断しています。 ※ CHRO … Chief Human Resources Officer ※ HRBP … Human Resources Business Partner ※ HRX … Human Resources Transformation
執行役常務	石井 利昇	これまで主に電子材料事業関係の部署に在籍し、2018 年 4 月の執行役員就任を経て、2022 年 4 月に執行役常務に就任。 台湾子会社（現在の MMC エレクトロニクス台湾社）の総経理、三田工場副工場長、電子材料事業カンパニー機能材料事業部副事業部長、同戦略・マーケティング部長等を歴任した後、同電子材料事業部長として、事業ポートフォリオの見直しや、事業基盤の強化等に取り組みました。2022 年 4 月に高機能製品カンパニー プレジデントに就任し、2024 年 4 月以降は、銅加工事業における収益改善施策や、電子材料事業における事業力の強化等に取り組んでいます。 このように、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、当社グループの経営を担う執行役として相応しいと判断しています。

役職	氏名	理由
執行役常務	高柳 喜弘	これまで主に金属事業関係の部署に在籍し、銅事業カンパニー（現在の金属事業カンパニー）企画管理部長、同営業部長等を歴任。2016年4月の執行役員就任を経て、2020年4月に執行役常務に就任（2021年6月から現在までは取締役兼務）。 三菱電線工業(株)取締役社長として、同社のガバナンスや事業競争力の強化を主導した後、高機能製品カンパニー バイスプレジデントとしてカンパニー全体の経営を補佐する一方、電子材料事業等の成長力強化に取り組みました。2024年4月以降は、CFO、経理財務、経営戦略、物流資材、コーポレートコミュニケーション、三菱マテリアルヨーロッパ社担当として、事業ポートフォリオの再構築や欧州地域における資源循環戦略の策定・実行等に取り組んでいます。 このように、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、当社グループの経営を担う執行役として相応しいと判断しています。 ※ CFO … Chief Financial Officer
執行役常務	張 守斌	これまで主に電子材料事業関係の部署に在籍し、2021年より三田工場長、2024年より高機能製品カンパニー経営統括本部長を歴任し、工場コストの徹底の見直しによる業績改善を達成したほか、組織力の継続的な強化等に取り組みました。また、電子材料事業に関する豊富な知識・経験に加え、銅加工事業も含めた高機能製品全体の事業運営に関する深い理解を有しています。 このように、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、当社グループの経営を担う執行役として相応しいと判断しています。
執行役常務	小原 和生	これまで主に加工事業関係の営業・マーケティング・戦略の部署に在籍し、2021年4月の執行役員就任を経て、2023年4月に執行役常務に就任。 加工事業カンパニー戦略部長、同バイスプレジデント、同戦略本部長を歴任し、超硬切削工具のマーケティング業務の再立ち上げや加工事業の4極体制の基盤確立に取り組みました。2023年4月に加工事業カンパニー プレジデントに就任し、2024年4月以降は、国内外における販売力強化や、タングステン資源の循環強化等に取り組んでいます。 このように、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、当社グループの経営を担う執行役として相応しいと判断しています。